【令和2年度　設計課題：高齢者介護施設】

2020.9.7

本試験課題と予測課題との比較　（参考としてN社市販書籍・N社資格学校・S社資格学校の要求室等あり）

表1　各予測課題の比較一覧表

各社	課題名	建設用地 規模（㎡）	横（m）	縦（m）	指定床面積 以上～以下（㎡）～（㎡）	東西南北の条件 東	西	南	北	要求室 ディサービス部門（D部） 事務室	更衣控室	訓練・食堂	厨房パント	浴室	交流	休養医務	相談会議	介護教室	ショートステイ部門or居宅センター部門（S部） 事務室	控室センター	宿泊展示	訓練介護	厨房パント	休養医務	洗濯汚物	リネン室	住宅部門（J部） 住戸	事務室	談話室（共同）	食堂	パントリー	浴室	洗濯汚物	リネン室	共用部門（K部） エントランス	交流	喫茶レスト	売店（倉庫）	事務室施設長	更衣室	休養医務	相談会議	便所他部有	設備室	屋上庭園（㎡）	屋外広場（㎡）	駐車場 車いす（台）	送迎用（台）	サービス（台）	駐輪場（台）	階数 建蔽率
本試験	R2課題				～																																												
研究会	予測課題1	1,750	50	35	3,000 ～ 3,500	駐車	遊歩	公園	道路	4人	適宜 適宜	150㎡	30㎡	120㎡ 3室	―	適宜 25㎡	適宜 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	適宜 D部	適宜 D部	30㎡ /12戸	―	適宜	―	―	―	適宜 ―	―	吹抜	100㎡	30人	適宜	4人 適宜	適宜	適宜 ―	― 適宜	適宜	受50㎡ 求30㎡	150㎡	―	1	2	1	15	5F 70%
	1階を共用部門、2階を居宅サービス部門、3～5階を居住部門に分けた計画である。要求室が多く各階納まりが厳しいプランである。要求室の納まりを優先すると床面積3,500㎡以下が影響し、バルコニー等での床面積削除テクニックが必要である。東側は歩行者専用道路があり、高さ制限に抵触する恐れが生じる（建物は隣地から5m離隔を確保したい）。																																														
	予測課題2	1,536	32	48	1,600 ～ 2,100	隣地	公園	公園	道路	―	―	120㎡	40㎡	80㎡ 3室	―	―	―	40㎡	4人	―	20㎡ /12戸	40㎡	― 適宜	適宜 適宜	適宜 適宜	適宜	20㎡ /10戸	―	30㎡	30㎡	―	30㎡	適宜 適宜	適宜	40㎡ 吹抜	―	―	―	4人 ―	適宜	適宜 ―	― 適宜	適宜	適宜	80㎡ 80㎡	円5m	1	―	1	―	3F 60%
	1階をディサービス部門、2階をシートスティ部門、3階を居住部門に分けた階層別計画である。2階には宿泊室（計12室）があり、3階には住戸（10戸）があり、要求室も34室と非常に多い条件である。2階と3階に屋上庭園、3層吹抜け、屋外広場等の特徴がある。縦長配置の中で隣地の病院との動線があり、軟弱地盤でもあるので、この対応策を講じる必要が																																													
	予測課題3																																																	
N社書籍	課題①	1,680																																														1	15	5F 80%
	課題②	1,600																																													2	10	3F 60%
	課題③	1,551																																													2	15	7F 70%
N社学校	早期1	1,680																																													3	15	5F 70%
	早期2	1,700																																													2	15	5F 80%
	演習1A	1,750																																													2	15	3F 70%
	演習1B	1,728																																													1	10	3F 80%
	演習2A	1,700																																													1	10	5F 70%
	演習3A	1,344																																													1	10	3F 70%
	演習3B	1,625																																													1	10	3F 70%
	模試	1,750																																													―	―	3F 80%
	演習4B	1,600																																													2	15	3F 70%
	演習5	1,376																																													1	―	3F 70%
S社学校	基本①	1,750																																													1	―	5F 80%
	基本②	1,536																																													1	―	7F 60%
	基本S1	1,728																																													1	―	5F 80%
	基本S2	1,632																																													1	10	5F 80%
	オリS1	1,584																																													1	―	5F 80%
	オリS2	1,650																																													1	―	6F 70%
	オリS3	1,584																																													1	―	5F 80%
	オリS4模試	1,632																																													2	10	6F 80%
					～																																													

一覧表は今年の出題傾向が一目瞭然（会員講座で公開）

研究会の予測課題は、効率よく学習できるよう3種類に絞り、その3種類だけで本試験と比較して80%以上ズバリ的中することを目指してます。

過去4年間は、ほぼ80%以上の的中を達成しております。

過去問の分析の他、N社・S社の予測課題の分析等をして毎年本試験に対して80%以上の的中を目指し達成しています（過去問の予測課題検証を参照下さい）。

N社・S社の課題は優れているが、あまりに課題が多すぎて、その学習に殆どの時間がかかり、課題への分析等へ時間をかけることができない。

研究会は、両社の課題を詳細に分析して、それらからも的中すべき課題を導き出しています。

製図合格者は、事実上（約9割の合格者）が通学者で合格確率は1/2、つまり通学者の隣の方との競争に勝った方が合格となります（学校は平等性から全国共通学習、同じ学習で勝つのは難しい？）。

なお、通学されない方の合格は、かなり厳しい確率ですが、当HPだけで合格する方も毎年います。

注意：本内容は、会員から本表作成範囲で協力頂き作成したものであり、参考程度に見て下さい。部門が異なるところにある場合があります。名称が微妙に異なる場合もあり、近い名前に統一しています。